

- 問1 1980年と比較して2020年の人口統計において、人口が増加している都道府県の数が増えている都道府県の数よりも多く、かつ人口100万人以上の都市が域内に二つ以上存在している日本の地方の組み合わせとして、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 関東地方と近畿地方 2. 東北地方と中国地方 3. 九州地方と北海道 4. 中部地方と四国地方
-
- 問2 「年間の日照時間」と「住宅用太陽光発電機器の設置数」の関係を示したデータにおいて、日照時間が2000時間を超えるほど長い地域は、一般的に設置数も多くなります。しかし、関東地方に位置するある県は、日照時間が長いにもかかわらず設置数が5万件を下回っており、静岡県や愛知県などの他の太平洋側の県とは異なる傾向を示します。横浜市の県庁所在地に持つこの県はどこですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 千葉県 2. 埼玉県 3. 神奈川県 4. 東京都
-
- 問3 群馬県などの標高が高い地域では、夏の涼しい気候を活かしてキャベツなどの野菜を栽培する農業が行われています。このような地理的条件を利用した農業の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 近郊農業 2. 高冷地農業 3. 施設園芸農業 4. 二毛作
-
- 問4 小田原城跡周辺などの関東地方の土壌について述べた説明文において、箱根山や富士山から飛散した物質が厚く降り積もって形成された、酸化によって赤っぽくなった土層に関する記述があります。この土壌の性質や背景として最も適切なものはどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. 九州地方に分布するシラスと呼ばれる土壌であり、大規模な稲作地帯となっている。 2. 花こう岩が風化してできたマサ土であり、土砂災害が起こりやすい性質を持っている。 3. 火山灰が堆積してできた関東ローム層であり、水はけが良いため畑作に利用されてきた。 4. 寒冷な湿地で植物が不完全に分解されてできた泥炭であり、燃料として利用される。
-
- 問5 東京都の南に位置し、相模湾に面するある県について述べた文として、統計上の特徴と合致する名称を選択してください。この県は京浜工業地帯の中核をなし、製造品出荷額等が極めて高い規模を誇る一方、水稲の作付面積はわずか0.3万ヘクタールと少なく、就業者数の約78パーセントをサービス業などの第3次産業が占めています。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 沖縄県 2. 神奈川県 3. 岩手県 4. 北海道
-
- 問6 日本の都道府県別の統計において、年間の日照時間が2000時間を超えて長いにもかかわらず、住宅用太陽光発電機器の設置数が5万件未満と、日照時間に比例せず少なくなっている地域があります。このように、日照条件が良いにもかかわらず設置数が伸び悩む主な要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 平地が少なく山地が多いため、住宅の当たりを確保することが困難であるため 2. 人口密度が高く、マンションなどの集合住宅や借家の割合が高いという住宅事情があるため 3. 製造業が盛んな地域であり、家庭用よりも工場向けの電力供給が優先されているため 4. 土地の価格が安く、個人住宅よりも大規模なメガソーラーの建設が優先されているため
-
- 問7 関東地方の北部に位置する群馬県のように、日本の都道府県の中には「県名」と「県庁所在地の名称」が異なるものが存在します。群馬県の県庁所在地である都市名として正しいものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 水戸市 2. 高崎市 3. 前橋市 4. 宇都宮市
-
- 問8 日本の大都市圏において、都心のオフィス街や官庁街では「昼間人口」が「夜間人口」を大きく上回る傾向があります。このような現象が起こる主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 都市中心部において、昼間の時間帯だけ地方からの観光客が一時的に住民登録を行う制度があるから 2. 都心の再開発によって大規模なマンションが建設され、昼間に活動する主婦や高齢者の居住者が増えたから 3. 郊外の住宅地から都市の中心部へ、多くの人々が通勤や通学のために移動してくるから 4. 都心部では夜間の騒音問題を避けるため、住民が夜間だけ郊外へ移動するように義務付けられているから
-
- 問9 東京都の南に位置する横浜市は、江戸時代末の開港をきっかけに急速に発展しました。この都市の歴史的な背景と現在の状況について説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 日米修好通商条約などにより開港した歴史を持ち、現在は都心部の混雑緩和や港湾機能の更新のため、臨海部の再開発が進められている。 2. 明治時代に初めて開港された新しい都市であり、現在は東京都に代わる日本の首都機能を担うため、大規模な官庁街が整備されている。 3. 室町時代から国際貿易港として栄えていたが、現在は人口減少が深刻な課題となっており、都心機能の一部を近隣の県へ移転させている。 4. 江戸時代末の開港により外国人の居留地が作られたが、現在は工業専用地域としての役割を強めており、商業施設の建設は行われていない。
-
- 問10 関東地方の各都県の統計において、人口密度が全国でも有数の高さである一方、夜間の常住人口に対する昼間の人口の割合を示す「昼夜間人口比率」が100%を大きく下回る県があります。このような統計上の特徴を持つ埼玉県のような地域は、都心へ通勤・通学する人々の住宅地としての役割が強いことから、一般に何と呼ばれますか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 工業地域 2. ベッドタウン 3. ニュータウン 4. 政令指定都市
-
- 問11 東京湾の東岸に位置する京葉工業地域では、化学工業や鉄鋼業といった重化学工業の割合が非常に高いことで知られています。この工業地域が大規模な臨海型の工業地帯として形成された背景として、最も適切な説明を選んでください。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. かつて付近に炭鉱が存在し、そこで採掘される石炭をエネルギー源として利用しやすかったため。 2. 大規模な埋め立て地が整備され、原材料の輸入や製品の輸出に便利な港湾機能を備えたため。 3. 内陸部の広大な土地を利用し、高速道路網の発達に合わせて自動車の組み立て工場が集中したため。 4. 古くからの伝統産業を基盤とし、地元の豊富な労働力を生かした繊維工業が発展したため。
-
- 問12 関東地方の各県における、常住人口（夜間人口）100人あたりの昼間人口の割合を示す「昼夜間人口比率」について、東京都はこの値が100を大きく上回っています。この理由として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 東京都は夜間の居住者数が日本で最も多いため、分母となる数値が大きくなり比率が高まっているため 2. 群馬県などの北関東の県において、地元での就職を希望する人が増え、東京都への流入が減少しているため 3. 埼玉県のベッドタウン化が進んだことで、東京都から埼玉県へ移住する人口が増えているため 4. 周辺の各県から東京都へ通勤・通学する人口の流入が、東京都から外へ流出する人口を大きく上回っているため
-
- 問13 栃木県に位置し、明治時代以降の日本の近代化を支える重要な輸出品であった銅を産出した一方で、周辺流域に深刻な被害をもたらした日本初の本格的な公害事件の舞台となった鉱山はどこですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 足尾銅山 2. 石見銅山 3. 釜石鉱山 4. 別子銅山

答え合わせ・解説

問1	答え 1 関東地方と近畿地方	日本の人口分布は都市部への集中が顕著であり、1980年から2020年の推移を見ても、東京を中心とする関東地方や、大阪・京都・兵庫などを擁する近畿地方では、他の地方に比べて人口増加を維持している府県が多く存在します。これらの地域には、横浜市や川崎市、大阪市や京都市といった人口100万人を超える政令指定都市が複数集まっていることが特徴です。
問2	答え 3 神奈川県	太平洋側に位置する神奈川県は、気候的には日照時間が長く太陽光発電に適していますが、実際の設置数は日照時間の短い他県よりも少なくなることがあります。これは、静岡県や愛知県に比べて都市化が著しく、住宅が密集しているという地域的特色が影響しています。こうした統計データの読み取りでは、自然条件（日照）だけでなく、社会条件（人口密度や住宅形態）を組み合わせる考えることが重要です。
問3	答え 2 高冷地農業	標高が高い地域は平地よりも気温が低いため、平地では栽培が難しい夏場にキャベツなどの野菜を育てることができます。この気候的特性を活かした農業は高冷地農業と呼ばれ、群馬県の嬬恋村などが代表的な産地です。これに対し、大都市の近くで新鮮な野菜を育てるのは近郊農業、ビニールハウスなどを使うのは施設園芸農業です。
問4	答え 3 火山灰が堆積してできた関東ローム層であり、水はけが良いため畑作に利用されてきた。	関東ローム層は火山灰からなる層で、粒子が細かく水はけ（透水性）が非常に良いという特徴があります。そのため、水持ちが重要となる稲作（水田）にはあまり適さず、古くから麦や野菜、雑穀などの畑作を中心に土地利用がなされてきました。小田原城周辺を含む関東の台地の多くでこの層を観察することができます。
問5	答え 2 神奈川県	東京都に隣接する神奈川県は、横浜市や川崎市といった工業都市を抱え、京浜工業地帯の重要な拠点として高い製造品出荷額等を維持しています。その一方で、急速な都市化の影響により農業用地は極めて限定的となり、膨大な人口を背景とした商業やサービス業、情報通信業などの第3次産業が産業構造の大部分を占めているのが大きな特徴です。
問6	答え 2 人口密度が高く、マンションなどの集合住宅や借家の割合が高いという住宅事情があるため	太陽光発電の設置数は通常、日照時間の長さに比例して増加する傾向がありますが、神奈川県などの大都市圏では特有の事情が見られます。これらの地域は人口密度が極めて高く、持ち家の一戸建てよりも集合住宅や借家住まいの世帯比率が高いため、個々の住宅への太陽光パネル設置が物理的・権利的に難しく、日照条件の良さが設置数に直結しにくい構造になっています。
問7	答え 3 前橋市	群馬県の県庁所在地は前橋市です。同じ関東地方の北部にある栃木県（宇都宮市）や茨城県（水戸市）も、県名と県庁所在地の名前が異なる県として知られています。高崎市は群馬県内において前橋市と並ぶ主要な都市で、交通の要所ですが、県庁所在地ではありません。
問8	答え 3 郊外の住宅地から都市の中心部へ、多くの人々が通勤や通学のために移動してくるから	昼間人口は、その地域に住んでいる人（夜間人口）に、他の地域から通勤・通学してくる人を足し、そこから他の地域へ通勤・通学する人を引いて算出されます。東京都心などの都市中心部には企業や学校が集中しているため、昼間に流入する人口が非常に多くなり、夜間の居住人口を大幅に上回る現象が生じます。
問9	答え 1 日米修好通商条約などにより開港した歴史を持ち、現在は都心部の混雑緩和や港湾機能の更新のため、臨海部の再開発が進められている。	横浜は1858年の日米修好通商条約などに基づき、1859年に開港されました。それ以降、日本の玄関口として発展し、人口も増加し続けました。高度経済成長期を経て老朽化した港湾施設や工場が並んでいた臨海部では、1980年代から「みなとみらい21」などの計画的な再開発が実施され、都市の活性化と国際競争力の強化が図られています。
問10	答え 2 ベッドタウン	東京都心への通勤・通学者が多いため、夜間に比べて昼間の人口が減少する地域は、寝に帰る場所という意味で「ベッドタウン」と呼ばれます。埼玉県や千葉県などの東京近郊の県では、昼夜間人口比率が100%を下回る傾向が顕著であり、これは都市の過密化を背景に郊外の宅地開発が進んだ結果です。
問11	答え 2 大規模な埋め立て地が整備され、原材料の輸入や製品の輸出に便利な港湾機能を備えたため。	千葉県の東京湾沿いに広がる京葉工業地域は、戦後の高度経済成長期に大規模な埋め立てが行われたことで誕生しました。大型船が接岸できる深い港（港湾施設）を整備したことで、海外から輸入する石油や鉄鉱石といった大量の原材料を直接工場に運び込むことが可能になり、化学工業や鉄鋼業を中心とした日本屈指の重化学工業地帯へと発展しました。
問12	答え 4 周辺の各県から東京都へ通勤・通学する人口の流入が、東京都から外へ流出する人口を大きく上回っているため	昼夜間人口比率は「（昼間人口÷夜間人口）×100」で算出されます。東京都は、周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県などから多くの通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を大幅に上回り、比率は100を超えます。一方、これら周辺の県は「ベッドタウン」としての性格が強く、昼間に人口が流出するため、比率は100を下回る傾向にあります。
問13	答え 1 足尾銅山	足尾銅山は栃木県に位置するかつての銅山です。明治時代には最新技術の導入により日本最大の産出量を誇り、外貨獲得によって日本の近代化に大きく貢献しました。しかし、精錬の過程で発生する有害物質が渡良瀬川に流れ込み、農作物や漁業への被害だけでなく、住民の健康被害を引き起こす深刻な公害事件へと発展しました。